

英語科 指導方法の課題分析と授業改善策

	ア 指導方法の課題分析	イ 具体的な授業改善策	ウ 補充的・発展的な学習指導計画
第一学年	<p><活用する力について> ○基礎基本を定着させ、活用する力を付ける工夫に課題がある。</p> <p><語彙力について> ○音と文字の関係が曖昧な生徒への手だてに課題がある。 ○語彙数を増やし、定着・活用する力を付ける工夫に課題がある。</p> <p><表現力について> ○小学校から取り組んでいる外国語活動の内容をさらに発展させ、自分の言葉で発表する場面を設定する。</p>	<p>○既習事項を活用し、スモールステップで反復しながらスパイラルに学習させる。</p> <p>○単語の小テストなどを計画的、継続的に行う。単語から基本文へとつなげ、活用させる。</p> <p>○テーマごとに課題を与え、家庭学習を定着させる。 ○少人数指導の利点を生かし、ALTと協力して楽しく表現させる機会を多く設ける。</p>	<p>○夏季補充教室等の個別指導を行うと同時に、2技能以上統合させた授業展開を計画的に行う。</p> <p>○ユニット毎に単語・単元テストを行い、夏休み明けに、スプリングテストを行う。</p> <p>○様々な場面設定を設け、ペアワークなどを活用しながら、実用性や必然性をもたせた表現活動を行う。</p>
第二学年	<p><活用する力について> ○既習の語彙や文法項目を定着させ、応用的な活動へとつなげていく工夫に課題がある。</p> <p><読解力について> ○長文読解の際、指示語の読み取りなどを苦手とする生徒への手だてに課題がある。 ○長文になるにつれて、読むことを諦めてしまう生徒への手だてに課題がある。</p> <p><表現力について> ○発信することだけでなく、質問をし合うなど、コミュニケーションにつなげる指導に課題がある。</p>	<p>○既習の文法項目を活用して、問題解決等を含む活動を充実させる。スピーチやスキットなどの発表活動でスパイラルに学習する。</p> <p>○長文読解の際に、5W1Hなど、大まかに内容を理解させる。また、意図的に指示語に関する質問を行い、意識付けを行っていく。 ○興味関心に応じた短めの長文でトレーニングを行う。</p> <p>○Q&Aやチャットをペアで行い、生徒の英語での発話量を増やしていく。スピーチの際に、質問タイムを設ける。</p>	<p>○夏季補充教室等を行い、基礎基本を身に付けさせる指導を行う。 ○帯活動にて、基礎を積み上げる学習を取り入れる。</p> <p>○読むスピードなどにも留意し、おおまかな内容をつかんでから内容把握につなげるポイント指導を行う。</p> <p>○ペアやグループでの活動を取り入れ、自分の意見を発信することや、学び合う時間を設ける。 ○毎学期、発表活動に取り組み、発展的な表現も指導していく。</p>
第三学年	<p><活用する力について> ○既習の文型について、復習や応用として取り上げる機会を設定する。</p> <p><長文読解について> ○長文読解や内容把握を苦手とする生徒への手だてに課題がある。</p> <p><表現力について> ○既習の文型を用いて会話や文章を続ける力をさらに発展させる指導の工夫に課題がある。</p>	<p>○既習の文型に取り組む時間を確保する。Q&Aシートなど、繰り返し学習ができる機会を増やす。</p> <p>○定期的に教科書や教科書以外の長文に触れる機会を増やし、慣れさせる。</p> <p>○活動の機会を多く設定する。表現力をのばすための工夫の仕方を提示していく。 ○ALTを活用し、表現活動の機会を確保する。</p>	<p>○夏期休業中や単元によって、補充的な学習教室を行う。</p> <p>○それぞれの進度に合わせて1、2年の復習の定着から総合問題まで放課後補習等で指導を行う。</p> <p>○ALTとの会話や手紙のやりとりなどで表現力を発展させる。</p>